学校番号	3030

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	倫政基本演習	単位数	２単位	年次	２年次 （通年理系）
使用教科書	「公共」（数研出版）						
副教材等	最新図説 公共 （浜島書店）・最新倫理資料集テオーリア（第一出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年次の倫政基本演習（通年）では、前期は政治経済分野を学習し、後期は倫理分野を学ぶ。前期については、１年次の公共の授業で学んだ政治分野の知識を基に、経済についてその歴史やしくみ、現在の課題を学ぶ。財政や地方自治に代表されるように、政治と経済が非常に密接に関わりあっていることを意識しながら学ぶことが重要である。さらに日本や世界の経済の現状や課題に関心をもち、自分の意見をまとめ、適切に表現できるように心がける。後期は２年次の公共に加え、日本思想を中心に学習を進めていく。

１年間の学習を通じて複数回課題の提出を課すので、授業中に新たに学んだことや、疑問点、自分の意見を自主的にノートに書き留めていこう。自ら学ぶ姿勢をもって授業に臨むこと。また将来を担う地球市民の一員としての視点を持つことが必要である。

2　学習の到達目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(1) 現代の諸課題をとらえ考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、実際に様々な資料を用い、課題の解決に必要かつより客観的な資料を効果的に調べ、まとめる技能を身につけるようにする。

(2) 現代社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断する力や合意形成や社会参画をも視野に入れながら、構想したことを議論する力を養う。その際、他者の意見を尊重し、様々な立場に立って物事を判断する態度も身につける。

(3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄をはかることや、各国がともに主権や多様な価値観を尊重するとともに、さらには「人間の安全保障」という観点に立って、世界中の人々がそれぞれ個人として尊重されることが大切であるという自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代社会と人間に関わる様々な文献、メディアなどの情報、教科書や資料集などの教材を用い、基本的な社会のしくみや現代社会の諸課題についての知識を身につけ、正確かつ有用な情報を適切に選択し、効果的に活用する技能を身につけている。	現代の諸課題について、広い視野に立って、多面的・多角的に考察し、社会の変化や日本において得られる情報と諸外国において得られる情報に差があることも考慮に入れ、公正かつ客観的に判断し、自分の意見や価値観を形成し、その意見や判断の根拠などを明確かつ適切に表現している。経済活動と福祉の向上との関連についても多面的・多角的に考察し、表現できている。	現代の諸課題について、関心を持ち、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的な社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につける。さらには世界の平和や個人の尊重が大切であるという意識を持ち、人権意識を高く持ち、自分にできることは何かを主体的に考える態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	経済のしくみと市場	・経済生活のしくみ ・企業の働きと役割 ・市場経済のしくみ ・国民所得と経済成長	a:経済活動に関して基本的な知識を有し、その歴史について理解している。 b:市場経済の機能と限界について、多面的・多角的に考察・構想し、表現することができる。また、現代の経済の様々なしくみがなぜ取り入れられたか、豊かさとは何かを多面的に考察・表現することができる。 c:積極的に意見を出し合い経済の課題や豊かさの指標について関心を持ち、様々な資料を考察に活用しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査	提出ノート 観察
	財政と金融	・財政の役割 ・金融の役割 ・日本銀行と金融政策	a:財政及び金融のしくみについて基本的なことがらを理解している。 b:持続可能な財政及び租税の在り方について、多面的・多角的に考察、構想することができる。 c:金融を通した経済活動の活性化について多面的・多角的に考察し、社会を大きく動かす景気の動向や国際情勢などについても、それを読み解くために様々な資料を活用しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	課題 提出ノート 観察
後期	日本思想①	・日本固有の思想 ・日本仏教の受容と展開 ・日本儒学の展開	a:古代から中世にかけての日本思想の展開について理解している。 b:上記思想の期間における変遷過程を考察し、表現できる。 c:資料などから本期間における多くの思想家の項目に触れ、関心を持って活用しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	提出ノート ワークシート 観察
	日本思想②	・国学、庶民の思想 ・西洋思想との出会い ・近代、現代の日本思想	a:江戸中期から幕末と明治以降にかけ、特に西洋思想を踏まえた日本思想の展開について、昭和期に至るまで理解している。 b:上記思想の期間における変遷過程や外来思想移入の背景などを考察し、自分なりの構想をもつことができる。 c:資料などから幕末、明治以降の思想家の項目に触れ、関心を持ち、主体的に学習している。	定期考査	定期考査	提出ノート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度